

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和4年1月19日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを○ で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO・ 地域DMO	
観光地域づくり法人 の名称	(一社) ジバスクラム恵那	
マーケティング・マネ ジメント対象とする 区域	岐阜県恵那市	
所在地	岐阜県恵那市大井町206番地5	
設立時期	令和2年1月16日	
職員数	4人【常勤3人(出向等3人)、非常勤1人】	
代表者(トップ人 材：法人の取組につ いて対外的に最終的 に責任を負う者) ※必ず記入すること	(氏名) 阿部 伸一郎 (一社) 恵那市観光協 会	(一社) 恵那市観光協会長(代表理事)として、 地域観光振興の舵取り役として活動。恵那商工会 議所副会頭も兼務し、地域におけるパイプ役とし て業種間を越えて、地域づくりや活性化において 様々な成果を上げている
データ収集・分析等 の専門人材(CM O：チーフ・マーケ ティング・オフィサ ー ※必ず記入すること	(氏名) 戸取健一郎 (専従) (出身組織名) 恵那市商工観光部	日本航空(株)主に国際線の営業として、米国、 ハワイ、グアムなどのマーケティングも担当して きた。2019年5月から人事交流で恵那市役所商工 観光部調整監に着任。恵那市の観光行政に携わ る。
財務責任者 (CFO：チーフ・ フィナンシャル・オ フィサー) ※必ず記入すること	(氏名) 田村 猛(専従) (出身組織名) 恵那市商工課	恵那市商工課係長として平成31年4月から従事。 地方銀行勤務経験あり。市役所においては財政部 門。企業会計部門を歴任。
プロモーション部門	(氏名) 横光 哲(専従) (出身組織名) 恵那市農政課	恵那市農林部農政課係長として平成29年4月から 従事。平成31年4月から令和元年9月まで(一 社)日本食農連携機構へ出向し、観光誘客、もう かる農業、創業支援についての実務を学ぶ。
観光商工部門	(氏名) 田村 猛(併任) (出身組織名) 恵那市商工課	同上
農林部門	(氏名) 横光 哲(併任) (出身組織名) 恵那市農政課	同上

(別添) 様式 1

<p>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</p>	<p>恵那市役所 観光交流課 (マーケティング、プロモーション、地域公共交通など) 商工課 (特産品開発、販路開拓) 地域振興課 (地域振興事務所、地域資源開発、ふるさと納税) 農政課 (農業体験、新商品開発、農泊、生産者連携など) 林政課 (林業体験など) 企画課 (庁内調整) 恵那市教育委員会 生涯学習課 (歴史、文化など) スポーツ課 (スポーツツーリズム、スポーツ施設の利用促進など)</p>
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ (一社) 恵那市観光協会 (既存観光資源の保全管理、地域資源開発) ・ 恵那商工会議所 (中小企業支援) ・ 恵那市恵南商工会 (中小企業支援) ・ 明知鉄道 (アクセス改善、二次交通の確保) ・ 東濃鉄道 (アクセス改善、二次交通の確保) ・ 平和コーポレーション (アクセス改善、二次交通の確保) ・ 東美濃農業協同組合 (農業振興) ・ 恵那市森林組合 (林業振興) ・ 恵南森林組合 (林業振興) ・ 十六銀行 (経営支援) ・ 大垣共立銀行 (経営支援) ・ 岐阜信用金庫 (経営支援) ・ 東濃信用金庫 (経営支援) ・ 岐阜県旅館ホテル生活衛生同業組合恵那支部 (観光連携) ・ 中津川・恵那広域行政推進協議会 (中津川・恵那観光推進協議会) ・ 日本食農連携機構 ・ ジェトロ岐阜 ・ ユニバーサルトラベルビューロー (旅行会社・名古屋市) ・ シティツアーズ (旅行会社・名古屋市)
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>【該当する登録要件】② (概要) 観光資源の関係者、宿泊事業者、交通事業者、商工会、行政が参画し、本法人が事務局を務める協議会を設置 (概要) 連携する事業者が参画する支援連絡協議会を設置する。協議会を定期的に関催し、当該法人の運営状況や目標達成状況等の報告に対し、助言、支援、提言を行い、かつ各会員関連携による事業推進を支援する。 (会員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 恵那商工会議所 (地域経済団体) ・ 恵那市恵南商工会 (地域経済団体) ・ 東美濃農業協同組合 (農業振興・金融機関) ・ 株式会社十六銀行恵那支店 (金融機関) ・ 株式会社大垣共立銀行恵那支店 (金融機関) ・ 岐阜信用金庫恵那支店 (金融機関) ・ 東濃信用金庫恵那支店 (金融機関) ・ 東濃鉄道株式会社 (交通事業者・旅行事業者) ・ 明知鉄道株式会社 (交通事業者) ・ 恵那市森林組合 (林業事業者) ・ 恵南森林組合 (林業事業者) ・ 岐阜県旅館ホテル生活衛生同業組合恵那支部 (宿泊事業者) ・ 日本食農連携機構 (農業振興) ・ ジェトロ岐阜 (貿易支援)

(別添) 様式 1

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恵那市役所観光交流課 (行政) ・ 他 						
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>一般社団法人恵那市観光協会、恵那市観光交流課と連携し、住民意識の醸成と観光コンテンツ開発のため、情報交換会を定期的に開催する。</p>						
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="456 454 644 506">事業</th> <th data-bbox="644 454 1445 506">実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="456 506 644 1373"> <p>情報発信・プロモーション</p> </td> <td data-bbox="644 506 1445 1373"> <p>2019 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般社団法人ジバスクラム恵那設立 ・ ウェブサイト、SNSによる様々な取組み等についての情報発信を開始 ・ 株式会社ユニバーサルトラベルビューローへの働きかけ等により、日帰りバス旅行商品販売 (予約 1,100 件) ・ 株式会社 ROBOZ、恵那市と 3 者で、ドローンを活用した地域活性化、まちづくり」を目的とする連携協定を締結 <p>2020 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウェブサイト、SNSによる情報発信 (4 月から 3 月の 1 年間で 114 件記事を発信) ・ 愛知県春日井市でマルシェ開催 ・ 愛知県を中心に「アウトドア体験会」を募集開催 ・ ドローンレース大会「TinyWhoopTOKAIClassic vol.2」後援開催協力 ・ JAL グループ社員限定・秋の大空マルシェへ出展 (品川区) ・ FMGIFU 出演 ・ 恵那市観光商品券事業におけるウェブ販売の実施 ・ 株式会社 ICMG、恵那市と 3 者で、企業研修誘致等による地域活性化を目的とした連携協定を締結 <p>2021 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウェブサイト、SNSによる情報発信 (4 月から 12 月の 9 ヶ月間で 104 件記事を発信) ・ 「空撮大会 at 上矢作町 町全体がドローン飛行場となる奇跡の 2 日間」後援開催協力 ・ 「秋の恵那大空撮大会 町全体がドローン飛行場となる奇跡の 2 日間」後援開催協力 ・ ドローンショー「ドローンアートフェスティバル」開催協力 ・ ドローンレース大会「TinyWhoopTOKAIClassic vol.3」後援開催協力 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="456 1373 644 1993"> <p>受入環境の整備</p> </td> <td data-bbox="644 1373 1445 1993"> <p>2019 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社 ROBOZ、恵那市と 3 者で「ドローンを活用した地域活性化、まちづくり」に関する連携協定を締結 (再掲) <p>2020 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社 ROBOZ の本社誘致に伴う「ENA DORONE STATION」がオープン。ドローンスクール、ドローン体験、ドローン機器販売開始 ・ 地元特産「じねんじょスパゲティ」開発、販売開始 ・ グローバルキャンペーンコンテンツ造成事業によるガイド研修、ワークショップ、ファムトリップの実施 ・ 情報発信とともに「宿泊」「体験」「食などの物販」を総合的に販売する EC サイト「Aeru」の構築準備。 ・ 株式会社 ICMG、恵那市と 3 者で「企業研修誘致等による地域活性化」を目的に連携協定を締結 <p>2021 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ EC サイト「Aeru」のアンテナショップ「AeruSHOP」を恵那市大井町にオープン ・ 情報発信とともに「宿泊」「体験」「食などの物販」を総合的に販売する EC サイト「Aeru」の構築、事業者営業、リリース ・ 伴走支援を行った水上アクティビティ事業者の開業 (阿木川湖・岩村町) </td> </tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	<p>情報発信・プロモーション</p>	<p>2019 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般社団法人ジバスクラム恵那設立 ・ ウェブサイト、SNSによる様々な取組み等についての情報発信を開始 ・ 株式会社ユニバーサルトラベルビューローへの働きかけ等により、日帰りバス旅行商品販売 (予約 1,100 件) ・ 株式会社 ROBOZ、恵那市と 3 者で、ドローンを活用した地域活性化、まちづくり」を目的とする連携協定を締結 <p>2020 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウェブサイト、SNSによる情報発信 (4 月から 3 月の 1 年間で 114 件記事を発信) ・ 愛知県春日井市でマルシェ開催 ・ 愛知県を中心に「アウトドア体験会」を募集開催 ・ ドローンレース大会「TinyWhoopTOKAIClassic vol.2」後援開催協力 ・ JAL グループ社員限定・秋の大空マルシェへ出展 (品川区) ・ FMGIFU 出演 ・ 恵那市観光商品券事業におけるウェブ販売の実施 ・ 株式会社 ICMG、恵那市と 3 者で、企業研修誘致等による地域活性化を目的とした連携協定を締結 <p>2021 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウェブサイト、SNSによる情報発信 (4 月から 12 月の 9 ヶ月間で 104 件記事を発信) ・ 「空撮大会 at 上矢作町 町全体がドローン飛行場となる奇跡の 2 日間」後援開催協力 ・ 「秋の恵那大空撮大会 町全体がドローン飛行場となる奇跡の 2 日間」後援開催協力 ・ ドローンショー「ドローンアートフェスティバル」開催協力 ・ ドローンレース大会「TinyWhoopTOKAIClassic vol.3」後援開催協力 	<p>受入環境の整備</p>	<p>2019 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社 ROBOZ、恵那市と 3 者で「ドローンを活用した地域活性化、まちづくり」に関する連携協定を締結 (再掲) <p>2020 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社 ROBOZ の本社誘致に伴う「ENA DORONE STATION」がオープン。ドローンスクール、ドローン体験、ドローン機器販売開始 ・ 地元特産「じねんじょスパゲティ」開発、販売開始 ・ グローバルキャンペーンコンテンツ造成事業によるガイド研修、ワークショップ、ファムトリップの実施 ・ 情報発信とともに「宿泊」「体験」「食などの物販」を総合的に販売する EC サイト「Aeru」の構築準備。 ・ 株式会社 ICMG、恵那市と 3 者で「企業研修誘致等による地域活性化」を目的に連携協定を締結 <p>2021 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ EC サイト「Aeru」のアンテナショップ「AeruSHOP」を恵那市大井町にオープン ・ 情報発信とともに「宿泊」「体験」「食などの物販」を総合的に販売する EC サイト「Aeru」の構築、事業者営業、リリース ・ 伴走支援を行った水上アクティビティ事業者の開業 (阿木川湖・岩村町)
事業	実施概要						
<p>情報発信・プロモーション</p>	<p>2019 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般社団法人ジバスクラム恵那設立 ・ ウェブサイト、SNSによる様々な取組み等についての情報発信を開始 ・ 株式会社ユニバーサルトラベルビューローへの働きかけ等により、日帰りバス旅行商品販売 (予約 1,100 件) ・ 株式会社 ROBOZ、恵那市と 3 者で、ドローンを活用した地域活性化、まちづくり」を目的とする連携協定を締結 <p>2020 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウェブサイト、SNSによる情報発信 (4 月から 3 月の 1 年間で 114 件記事を発信) ・ 愛知県春日井市でマルシェ開催 ・ 愛知県を中心に「アウトドア体験会」を募集開催 ・ ドローンレース大会「TinyWhoopTOKAIClassic vol.2」後援開催協力 ・ JAL グループ社員限定・秋の大空マルシェへ出展 (品川区) ・ FMGIFU 出演 ・ 恵那市観光商品券事業におけるウェブ販売の実施 ・ 株式会社 ICMG、恵那市と 3 者で、企業研修誘致等による地域活性化を目的とした連携協定を締結 <p>2021 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウェブサイト、SNSによる情報発信 (4 月から 12 月の 9 ヶ月間で 104 件記事を発信) ・ 「空撮大会 at 上矢作町 町全体がドローン飛行場となる奇跡の 2 日間」後援開催協力 ・ 「秋の恵那大空撮大会 町全体がドローン飛行場となる奇跡の 2 日間」後援開催協力 ・ ドローンショー「ドローンアートフェスティバル」開催協力 ・ ドローンレース大会「TinyWhoopTOKAIClassic vol.3」後援開催協力 						
<p>受入環境の整備</p>	<p>2019 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社 ROBOZ、恵那市と 3 者で「ドローンを活用した地域活性化、まちづくり」に関する連携協定を締結 (再掲) <p>2020 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社 ROBOZ の本社誘致に伴う「ENA DORONE STATION」がオープン。ドローンスクール、ドローン体験、ドローン機器販売開始 ・ 地元特産「じねんじょスパゲティ」開発、販売開始 ・ グローバルキャンペーンコンテンツ造成事業によるガイド研修、ワークショップ、ファムトリップの実施 ・ 情報発信とともに「宿泊」「体験」「食などの物販」を総合的に販売する EC サイト「Aeru」の構築準備。 ・ 株式会社 ICMG、恵那市と 3 者で「企業研修誘致等による地域活性化」を目的に連携協定を締結 <p>2021 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ EC サイト「Aeru」のアンテナショップ「AeruSHOP」を恵那市大井町にオープン ・ 情報発信とともに「宿泊」「体験」「食などの物販」を総合的に販売する EC サイト「Aeru」の構築、事業者営業、リリース ・ 伴走支援を行った水上アクティビティ事業者の開業 (阿木川湖・岩村町) 						

	<p>観光資源の磨き上げ</p> <p>2020 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 恵那市よりアウトドアレジャーを軸とした新しい観光の推進のため、アウトドアレジャー施設調査分析等業務を受託 ・ 市内のアウトドア事業者等を対象として、アウトドアセミナー&グランピングサービスモニター体験を開催 ・ 株式会社 ABC Glamp&Outdoors、恵那市と 3 者で、アウトドアレジャーによる地域活性化を目的とした連携協定を締結 ・ (再掲) グローバルキャンペーンコンテンツ造成事業によるガイド研修、ワークショップ、ファミトリップの実施 <p>2021 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行会社を招聘し、名古屋市の小学生を対象としたアウトドア体験、ドローン体験、農園体験について、事業者と引き合わせ、旅行商品化に関する商談会を開催。 ・ 恵那市が整備する新しいグランピング場「Hoko. Glamping」の運営準備支援 (事業計画、収支計画策定、体験型コンテンツの造成 (ドローン体験、レザーフラフと体験、ブッシュクラフト体験、カヌー体験、SUP 体験等)) <p>(定量的な評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS 等を活用した地域の情報発信 ・ 観光マーケティング調査結果 ・ 観光入込客数 ・ ウェブサイト「エ～ナえな」アクセス数 ・ 総合販売サイト「Aeru」への商品掲載数
<p>実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること (別添可)。</p>	<p>(実施体制の概要)</p> <p>(一社) 恵那市観光協会と恵那市が設立者となり、一般社団法人ジバスクラム恵那を運営する。恵那市観光協会はそのまま存続し、「伝統的に行われてきた観光事業の維持」や「観光案内所、観光物産所の運営」を行う。理事会の体制として役員を 10 名とし、理事長、副理事長及び複数の理事、監事を置く。連携する事業者が参画する支援連絡協議会を設置。当協議会は定期的に開催し、当該法人の運営状況や目標達成状況等の報告に対し、助言、支援、提言を行う。また、DMO 法人が取得した各種データや分析結果を開示しながら、各会員間の連携による事業推進を支援する。</p> <p>また、地域アウトドア事業者のグループ「アウトドアコミュニティえな」において、恵那市アウトドアレジャー推進計画を推進するための事業について諸施策を協議検討しています。</p> <p>(実施体制図)</p>

2. 観光地域づくり法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

全国的に少子高齢化や人口減少が課題となっているが、恵那市においても市町村合併直後の平成17年4月の人口57,374人に対し平成31年4月の人口が50,200人と7,174人12.5パーセント減少している。恵那市全体の人口減少に歯止めをかけるため、恵那市全域で総合戦略産業である観光業の振興により関係人口を増やし、地域を活性化させる必要がある。

【観光客の実態等】

(別添) 様式 1

名古屋から約1時間に位置し、中京圏からの日帰りおよび宿泊客が圧倒的に多い。訪日ブームの昨今においては、恵那峡を中心にインバウンド団体ツアー客や、中山道や岩村を訪れる海外個人旅行者も増加の傾向にある。平成30年度においては、NHK朝の連続ドラマ「半分青い」のロケ地となった岩村城下町を中心に観光客が増大したが、令和元年度については新型コロナウイルス感染症の流行により大幅に減少したものの、約4分の1の落ち込みにとどまった。

平成17年度	3,138,731人
平成18年度	3,163,399人
平成19年度	3,285,929人
平成20年度	3,311,249人
平成21年度	3,651,985人
平成22年度	3,519,753人
平成23年度	3,786,712人
平成24年度	4,085,220人
平成25年度	3,987,990人
平成26年度	3,833,257人
平成27年度	4,039,508人
平成28年度	3,889,140人
平成29年度	3,825,312人
平成30年度	4,157,015人
令和元年度	3,074,927人

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

○観光施設

恵那峡(恵那峡)、恵那峡遊覧船(恵那峡)、恵那市観光物産館「えなてらす」(大井町)、岩村城址及び城下町(岩村町)、ふくろう商店街(岩村町)、山岡陶業文化センター(山岡町)、ヘルシーハウス山岡(山岡駅かんでんかん)(山岡町)、花白温泉花白の湯(山岡町)、大正ロマン館他大正村施設(明智町)、大正浪漫亭(明智町)、くしはら温泉ささゆりの湯(串原)、道の駅そばの郷らっせいみさと(三郷町)、道の駅おばあちゃん市・山岡(山岡町)、道の駅上矢作ラ・フォーレ福寿の里(上矢作町)

○商業施設

恵那峡山菜園(大井町)、恵那銀の森(大井町)、恵那川上屋恵那峡店(大井町)、恵那寿や観音寺店(大井町)、恵那峡サービスエリア上り・下り(大井町)

○自然

保古の湖(東野)、県立自然公園根の上高原(東野)、坂折棚田(中野方町)、農村景観日本一(岩村町富田)、笠置山及び笠置峡(笠置町・中野方町)、阿木川ダム(東野・岩村町)、小里川ダム(山岡町)、奥矢作湖(串原・上矢作町)、シロヤシオ溪谷(東野)、達原溪谷(上矢作町)、大船山(上矢作町)、

○歴史文化

中山道(大井町、長島町、武並町)、中山道大井宿(大井町)、ひしや資料館(大井町)、行在所(大井町)、中山道広重美術館(大井町)、岩村城跡(岩村町)、岩村歴史資料館(岩村町)、飯高観音(山岡町)、大正村資料館(明智町)、中山太鼓(串原)、地歌舞伎(東野、飯地町、串原など)、横井照子ひなげし美術館(大井町)

○スポーツ

クリスタルパーク恵那スケート場(武並町)、笠置山ボルダリング(笠置町)、恵那笠置山モーターパーク(中野方町)、串原マレット・グラウンドゴルフ場(串原)、日本大正村クロスカントリー(明智町・3月)、恵那峡ハーフマラソン(武並町・4月)、WRC日本ラウンド(2022年開催予定)、ENA DRONE STATION(上矢作町)、カヌー・SUP(根上高原・笠置峡・阿木川湖)

○農業観光・グリーンツーリズム

馥郁農園(長島町・いちご、桃他)、すまいるふぁーむ阿部農園(三郷町・いちご)、ブルーベリーの丘ホピ(三郷町・ブルーベリー)、えな笠置山栗園(中野方町・栗)、佐藤農園(中野方町・

(別添) 様式 1

ブルーベリー)、ぜんちゃんふぁーむ (岩村町・ぶどう、ブルーベリー他)、豊楽園 (岩村町・ぶどう、なし、りんご)、原農園 (岩村町・いちご)、いしかわ農園 (上矢作町・)、農泊 (中野方町、明智町)、林間学校・森林体験 (東野根の上高原・上矢作町)、

○イベント

城下町のひなまつり (岩村町・3月)、恵那峡ハーフマラソン (長島町、三郷町、武並町・4月)、光秀まつり (明智・5月)、根の上高原つつじまつり (東野・5月)、恵那納涼水上花火大会 (大井町・7月)、ザ・縁日・ふるさと創生花火 (岩村町・7月)、爪切地藏尊奉納花火大会 (山岡町・8月)、恵那納涼夏祭り盆踊りの夕べ (大井町・8月)、明智町納涼花火大会 (明智町・8月) みのじのみのもりまつり (大井町・9月)、岩村町秋祭り (岩村町・10月)、八王子神社大祭 (明智町・10月)、かえでまつり (明智町・10月)、岩村城下おかげまつり (岩村町・11月)、恵那まちなか市 (大井町・5月・8月・10月・12月)、L1ラリー (11月)、Tiny Whoop TOKAI Classic (上矢作町・11月)、七日市 (大井町・1月)、八日えびす (明智町・1月)、根の上高原大どんど焼き (東野・1月)、女城主蔵開き (岩村町・2月)、日本大正村クロスカントリー (明智町・3月)、ドローン空撮大会 (全域・随時)

○食

五平餅、栗きんとん、朴葉すし、からすみ、細かんでん

○その他

明知鉄道 (恵那駅と明智駅の25.1kmを結ぶ情緒あふれるローカル列車)

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

○恵那峡温泉周辺

・恵那峡グランドホテル、かんぼの宿恵那、湯快リゾート恵那峡国際ホテルの大手3施設周辺に民宿が数件。1日の収容人員は最大1,000人程度。

○恵那駅周辺

・ルートインホテル恵那、エナプラザホテル、シティホテルミチビジネスホテル3施設 収容人数計約290名。

○中山道大井宿

・旅館いち川 収容人数20名

○根の上高原

・国民宿舎恵那山荘 収容人数約70名
・Hoko. Glamping (2022.4.27開業予定) 定員4人*10棟 <https://hokoglamping.com/>

○岩村

・岩村…岩村山荘、やなぎ屋、藤時屋、ぬのめ屋 収容人数約70名

○ゲストハウス

・ゲストハウスTSUNAGU (上矢作町) 収容人数最大10名 (一日一組)

○キャンプ場等

・保古の湖キャンプグラウンド (東野)
・ブッシュクラフト岐阜恵那 (武並町)
・望郷の森キャンプ場 (中野方町)
・飯地高原自然テント村 (飯地町)
・大正村コテージこもれび (明智町)
・ささゆりの湯キャンプ場 (串原)
・奥矢作レクリエーションセンター (串原 バンガロー・キャンプ場)
・福寿の里モンゴル村 (上矢作町)
・越沢コテージ (上矢作町)
・コテージかわせみ (上矢作町)

○農泊

・中野方町 (5件)
・明智町門野地区 (1件)

(別添) 様式 1

【利便性：区域までの交通、域内交通】

名古屋から JR 中央線、中央自動車道を利用し、ともに約 1 時間の距離に位置している。

恵那駅から明智駅までローカル鉄道明知鉄道にて 1 時間弱で結ぶ。岩村城下町、日本大正村の観光の足として利用される他、寒天列車、きのこ列車、じねんじょ列車など地域の味覚が楽しめるグルメ列車も人気を博している。

市内各地域には、東鉄バスや市自主運行バスにより路線化されているが、便数は年々減少しており、観光客の足として利便性があるとは言えない。

【外国人観光客への対応】

恵那市においては、平成 26 年度に恵那駅、中山道大井宿の施設、岩村城下町、明智町の日本大正村に wi-fi 環境を整備し、平成 28 年度には主な観光施設に QR コードで多言語解説される案内の整備を行った。また、令和元年度には市内の公衆トイレの洋式化を行い、令和 2 年度にはアウトドア施設を中心に追加で wi-fi 環境を整備した。公衆トイレの洋式化については、これまで順番に整備しており、今後もさらに洋式化を進めていく方針である。

受入環境の整備については、市を中心に順番に取り組んでいく方針だが、市内観光地における外国人向けの案内看板や観光関係のウェブサイトの多言語化などの環境はまだ未整備であり、今後も改善への取り組みが必要である。観光施設における直接の対応については、専門講師による研修会の開催などにより観光関係従業者へ対応方法など周知を計画している。

2020 年度に中部運輸局によるグローバルキャンペーンコンテンツ造成事業に参加。ガイド研修やワークショップ等に取り組んだ。発掘した体験等の観光商品化に取り組む。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額 (KPI)	データに基づく戦略立案、KPI の策定及び進捗管理のため	主要な観光施設等におけるサンプリング調査
延べ宿泊者数 (KPI)	データに基づく戦略立案、KPI の策定及び進捗管理のため	宿泊施設の統計数字。恵那市が宿泊施設より聞取調査を実施。
インバウンド延べ宿泊者数 (KPI)	データに基づく戦略立案、KPI の策定及び進捗管理のため	宿泊施設の統計数字。恵那市が宿泊施設より聞取調査を実施。
来訪者満足度 (KPI)	データに基づく戦略立案、KPI の策定及び進捗管理のため	主要な観光施設等におけるサンプリング調査
リピーター率 (KPI)	データに基づく戦略立案、KPI の策定及び進捗管理のため	主要な観光施設等におけるサンプリング調査
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	グーグルアナリティクスを活用して実施。
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	恵那市が行う市民意識調査の調査結果を活用。

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

恵那市では、人口減少、少子高齢化が進んでおり、特に市の周辺部において顕著である。

観光業においては、国内の旅行需要の高まりや訪日外国人旅行者の急増を受け、観光による地域経済の活性化が期待できる中、当市の観光関連産業を育成し、主たる産業としていくためには、観光消費額の増加が必要だが、そもそも産業としての観光事業者が少なく、地域にお金を落としてもらう仕組みとしての観光コンテンツの旅行商品化や、情報発信不足などにより、地域資源の魅力を十分に活かしきれていない状況である。

(別添) 様式 1

こうした地域の課題に対し、既存の観光地域づくり法人（DMO）を中心として既存の観光資源を活用した観光地域づくりを図り、新たな雇用の創出や担い手不足の解消、交流人口の増加につなげることをしている。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p>強み (Strengths)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光客数に影響する要素 <ul style="list-style-type: none"> ・温泉 ・豊かな自然 ・将来性のあるドローン事業者の誘致 ・グランピング場のオープン(2020.4 開業予定) ・栗きんとんや五平餅などの特産品 ・歴史の町並み (タイムスリップ) ・文化財 (史跡) が多い ・棚田など農村風景 (日本の美しさ) ・道の駅の集客力 ・恵那峡リニューアルと 100 周年 ・大正村浪漫亭リニューアル ・大人の旅行が人気 ・東海地方からの旅行者が増加 ○観光消費単価に影響する要素 <ul style="list-style-type: none"> ・栗きんとんなど和菓子の新商品開発 ・体験プログラムなどの開発 ○観光関連産業の稼ぐ力 <ul style="list-style-type: none"> ・製造業と農林水産業が域外から稼いでいる ○稼ぐ観光とするための体制 <ul style="list-style-type: none"> ・広域連携による取り組み 	<p>弱み (Weaknesses)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光客数に影響する要素 <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド商品不足 ・飲食店・お土産店が減少 ・道の駅からの周遊が少ない ・道の駅の伸び悩み ・関東や近畿からの旅行者減少 (東海地方以外での知名度が低い) ・産業としての体験型コンテンツが少ない。 ○観光消費単価に影響する要素 <ul style="list-style-type: none"> ・交通網発達により通過型観光と化し、滞在時間が短く、周遊が少ない ・宿泊者が少ない ○観光関連産業の稼ぐ力 <ul style="list-style-type: none"> ・食料品業、小売・卸業、サービス業が域外から買っている。 ・観光による経済波及効果は十分に取込めていない ○稼ぐ観光とするための体制 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な関係者を巻き込んだ観光地づくり体制が十分でない
外部環境	<p>機会 (Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光客数に影響する要素 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の流行に伴う旅行動態の変化 ・地方での訪日旅行者の増加 ・WRC 日本ラウンドの開催が決定 ・ポーランド共和国ボート・カヌー代表の東京オリンピック事前合宿 ・超高齢化社会によるシニア旅行者の増加 ・その地でしか体験できない観光へのシフト ・グルメ・温泉・自然が旅行の目的 ・集客力のある道の駅が県内に多数 ・文化財に対する関心の高まり ・リニア開業によるアクセス向上 ・道路網整備による交通の利便性向上 ・県の電気自動車充電設備整備計画 ・朝ドラの撮影地や大河ドラマゆかりの地 ・映画による岐阜の知名度アップ ○観光消費単価に影響する要素 <ul style="list-style-type: none"> ・訪日外国人を含めた富裕層 ○観光関連産業の稼ぐ力 <ul style="list-style-type: none"> ・付加価値の高い製品への見直し ・IT 活用・事業者連携等生産性向上への注目 	<p>脅威 (Threat)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光客数に影響する要素 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の流行及びそれに伴う旅行動態の変化 ・少子高齢化による国内旅行市場の縮小 ・若者の内向志向 ・訪日外国人のゴールデンルートへの集中 ・外国に比べ休暇が取りにくい ○観光消費単価に影響する要素 <ul style="list-style-type: none"> ・価格競争から抜け出せない産業構造 ・宿泊客の飛騨圏域への集中 ・アジア以外の国からの旅行者少ない ○観光関連産業の稼ぐ力 <ul style="list-style-type: none"> ・サービス業をはじめとし観光関連産業全体の生産性が低い ・労働力不足

(別添) 様式 1

<p>○アウトドアブーム ・豊富なキャンプ場、豊かな自然を活かす</p>	
--	--

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

(3) ターゲット

<p>○第1ターゲット層 中京圏からの主に日帰り観光客 30代～60代のファミリー層、個人及びグループ</p>
<p>○選定の理由 ※4. 戦略(1)・(2)の分析を踏まえたターゲット層の設定であることを説明すること。 (例) 他地域と比較して当該ターゲット層の来訪が著しく多く、また市場としても今後拡大傾向にあるため。</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルスの流行の影響により、インバウンド需要が期待できない中、マイクロツーリズム、アウトドアレジャーが注目を浴びている。・岐阜県入込客統計調査(2020年)の東濃地域入込客数における入込客の居住地は、県内30.8%+東海地方54.0%となっており、84.8%を中京圏が占めている。また、2021年に実施した恵那市観光マーケティング調査においても、愛知県、岐阜県からの入込が78%と非常に高いウェイトを占めている。このように中京圏からの来訪客が多く、今後においても最重要ターゲットである。名古屋周辺からJR中央線や中央自動車道を利用しての来訪が多くを占めるが、豊田市をはじめ三河地域や浜松遠州地域からも潜在的な需要がある。都会の日常生活を離れて、どこか懐かしく豊かな自然や里山文化に触れていただきたく、インバウンド需要が期待できない間は、第1のターゲットとして想定する。 <p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none">・2022年4月には、根の上高原に新しいグランピング場「Hoko.Glamping」も開業予定です。恵那市アウトドアレジャー推進計画に基づき、市内に数多くある自然を活かし、市内各所のアウトドア関係事業者と連携を取り、各事業者の収益向上のため、新しい施設から全域へ誘導していく仕組みを構築していく。・地域食材を中心としたアウトドアフードを開発し、恵那ならではの食事をプロモーションするとともに、地域でお金を消費してもらおうスキーム作りをさらに進める。・「市内旅行事業者・地域の関係者」と「外部の旅行事業者」とを繋ぎ、連携していきながら、市内の観光資源を取り込んだ旅行商品を企画することで、販売ルートを拡大して誘客の促進を図る。・道の駅ラ・フォーレ福寿の里上矢作をドローンの道の駅とし、株式会社ROBOZとも連携してドローン体験やイベントで誘客を目指す。・五平餅や朴葉すしなどの食文化や当地ならではの歴史探索、豊富なダムや河川などを活用した水上アクティビティなど、地域に息づく文化、自然、歴史をテーマに着地型体験コンテンツを販売できる事業者を支援、育成してターゲット顧客層の受入体制をつくる。・恵那市観光協会において名古屋市において「恵那市観光物産展」を開催し、恵那の特産品と観光PRを実施している。恵那に訪れる動機づくりとなる仕掛けを配しながら、今後も継続する方針である。・三河・遠州地域においても、恵南地区の岩村町、明智町(日本大正村)、くしはら温泉ささゆりの湯(串原)、モンゴル村、越沢コテージ(上矢作町)といった比較的近距離に位置している観光スポットをメインにPRすることでアプローチを図る。・宿泊と体験、食を総合的に予約販売できる自社サイト「Aeru」を構築したので、掲載内容の充実を図り、販売拡大を進める。

(別添) 様式 1

<p>○ターゲット層 スポーツアクティビティを楽しむ観光客</p>
<p>○選定の理由</p> <ul style="list-style-type: none">・WRC日本ラウンド開催決定や、東京オリンピック開催に加えポーランド共和国ボート・カヌー代表の東京オリンピック事前合宿が実施され、また、市内に本社を誘致した誘致したドローン専門企業「株式会社 ROBOZ」の活動も活発化してきている。・新型コロナウイルスの流行の影響により、アウトドアレジャーに注目が集まる中、豊富な自然を活かし、スポーツアクティビティを楽しむ観光客の取り込みを図る。 <p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none">・恵那市が取り組むWRCを契機とした市内各地域と連携したイベント等の観光コンテンツを域外へ情報発信する。・長期滞在につながる大学や実業団などのスポーツ合宿誘致を進めるため、地域や旅行事業者と連携し、WEB等によるプロモーションを実施する。また、食事や宿泊、送迎など合宿に必要なサービスを提供する事業者の育成支援を行う。・アウトドア関係事業者と連携し、豊富なダムや河川などの自然を活用、商品化する。ボート、カヌー、SUPなど水上アクティビティ、笠置山のボルダリングなどの自然環境を活用したスポーツツーリズムを実施するため、事業者の起業支援、事業実施支援を行う。・誘致したドローン専門企業「株式会社 ROBOZ」とともに、ドローンで遊びやすい環境づくりや、関連イベントを支援、また、本社のある上矢作の道の駅や、新しく開業する根の上高原のグランピング場「Hoko. Glamping」の誘客にドローンという特色を持たせ、誘客とともに観光消費額の増嵩を目指す。
<p>○ターゲット層 インバウンド（海外個人旅行）顧客層</p>
<p>○選定の理由</p> <ul style="list-style-type: none">・インバウンド顧客は団体ツアーから海外個人旅行へ、都市滞在型から地方滞在型へと予想以上の早さで変革している。・日本の地方に対し興味を抱きはじめて外国人旅行者にとって、恵那の持つ里山文化はまさに魅力あるアイテムとなり得る。・外国人宿泊者数を見ると、従来の中国、台湾、韓国を含むアジア圏の宿泊者が2017年の11,104人から2018年は15,650人、2019年13,385人と増加しつつあった。また人数は少ないながら、主に中山道ウォーキングを目的としたオーストラリアからは2017年の312人から2018年492人、2019年は906人と大幅に増加傾向にあった。 <p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none">・インバウンド向け着地型旅行商品を開発して、日本の里山文化に触れる機会を提供する。市内の関連事業者や地域文化の担い手団体等の支援を行うとともに、外国人顧客受入体制の整備を図る。・ランドオペレーターや現地旅行社へのセールス、中部国際空港のSNSなどを通じた情報発信などにより、誘客とPRに努める。また、アクセス数を観察し、どのようなコンテンツに興味を持たれたか分析することで、魅力ある観光コンテンツの開発を支援する。・中部国際空港と協力し、LCCで中部へ来る旅行客の誘導を図る。・令和2年度グローバルキャンペーンコンテンツ造成事業による中山道を中心とした商品の旅行商品化を推進する。

(4) 観光地域づくりのコンセプト

<p>①コンセプト</p>	<p>地場スクラムを組んで、恵那らしさを追求し、稼ぐ観光都市恵那を目指す</p>
---------------	--

(別添) 様式 1

<p>②コンセプトの考え方</p>	<p>恵那市は、北部については、笠置山や木曾川とダムによる峡谷、根の上高原などの自然資源、中山道や広重美術館などの歴史文化資源、南部については岩村城址及び城下町、日本大正村などの歴史文化資源、山岡の陶芸や寒天などの特産品、矢作川湖や大船山などの自然資源など、地域地域で特色ある観光資源が存在します。</p> <p>数多くある市内各地域の観光資源について、地域住民を巻き込みながら、恵那にしかない特別な体験（観光商品・コンテンツ）を創造し、観光事業により地域や地域の事業者が稼ぐことで、地域の活性化につなげる必要があります。</p> <p>ひとつの軸としては、恵那市アウトドアレジャー推進計画に基づき、市内各地域にある自然資源を生かしたアウトドアを一つの誘客の軸として誘客を進めます。</p>
-------------------	---

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
<p>戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。</p>	<p>※戦略の共有方法について記入すること 連絡協議会、事業者との定期的な会合、実績報告書、調査報告書の公表、AeruMarket の定期開催による事業者間交流</p> <p>連絡協議会を定期的に開催し、各種データや分析結果、取り組んでいる事業を示し、各会員間の連携による事業推進を支援する。</p> <p>より魅力ある商品開発を目指し、市内の各事業者と定期的な会合を行う。その中で利用客が増加するための意見交換や勉強会を行う。</p> <p>市内事業者と外部事業者とのビジネスマッチングにより、販売促進支援を行い、旅行商品の販売能力向上を図る。また、各種アンケート調査を実施し、自社サイトへの掲載等により情報を共有する。</p> <p>特に恵那市アウトドアレジャー推進計画に基づき、アウトドア事業者と定期的な会合を持ち、アウトドアを切り口とした観光誘客を進める。</p> <p>インバウンド向けプロモーションについては玄関口となる中部国際空港と連携し、SNS など活用しながら情報発信を行う。</p>
<p>観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築</p>	<p>(例) 飲食店や宿泊施設をはじめとする地域が提供する観光サービスに係る品質保証制度を実施。</p> <p>各種アンケート調査などにより顧客満足度などの現状把握を行う。調査結果についてはその分析結果をフィードバックするため、連絡協議会における情報提供、検討を行う。また、「Aeru」の販売データなどを提示し、「稼ぐ力」に対する認識を向上させるなど地域の事業者の育成支援を行うことで、サービスの維持・向上に努める。</p>
<p>観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション</p>	<p>(例) ワンストップ窓口の実施、SNS を利用した効果的なプロモーションの実施。</p> <p>自社ウェブサイト、SNS 等により、市内観光情報、イベント情報、施設情報等を発信する。</p> <p>アンテナショップ「AeruSHOP」における情報発信。</p> <p>空港や運輸事業者、旅行会社、アウトドア産業、外食事業者等の域外宣伝拠点に効果的なプロモーションを行う。</p>

(別添) 様式 1

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. KPI (実績・目標)

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

(1) 必須KPI

指標項目		2018 (H30) 年度	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	()	9,045 ()	9,226 ()	9,421 ()	9,599 ()	9,776 ()
	実績	8,868 ()	10,949 ()	8,448 ()	()	()	()
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	()	248,600 (18,600)	251,200 (19,400)	253,800 (20,200)	256,400 (21,000)	259,000 (21,800)
	実績	246,226 (17,886)	264,162 (18,600)	169,398 (2,037)	()	()	()
●来訪者満足度 (%)	目標	()	()	()	96.0 ()	96.0 ()	96.0 ()
	実績	()	()	96.0 ()	()	()	()
●リピーター率 (%)	目標	()	()	()	72.0 ()	72.0 ()	72.0 ()
	実績	()	()	72.0 ()	()	()	()

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

※KPIとして設定する項目や年次及び目標数値に関して、その検討のプロセスや考え方を項目ごとに出来る限り具体的に記入すること。

2019年度に恵那市観光ビジョン策定委員会において旅行消費額及び延べ宿泊者数の目標値を定めたもの

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

恵那市観光ビジョンと合わせ、2018年度推計値に対し、毎年2%増の目標を設定「令和9年度10,599百万円」を目指す。

●延べ宿泊者数

恵那市観光ビジョン目標値と合わせ、過去の伸び率から推定して毎年1%増の目標値を設定
インバウンドについては、インバウンド宿泊者数については、国のインバウンド目標値(4000万人を10年間で6000万人)の伸び率、年4.15%増に目標値を設定

●来訪者満足度

(別添) 様式 1

※来訪者に関する満足度調査が未実施の場合、「観光地の満足度調査」

(<https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/manzokudochousa.html>) を参照して実施し、例えば、毎年〇%増などの目標を設定して記入すること。

2020 年度に主要観光地点でアンケート調査を行う中で満足度を測定し、「とてもよい：52%」と「よい：44%」の合計で96%と非常に高い満足度であった。引き続き同じ水準を維持していくように目標値を設定

●リピーター率

2020 年度に主要観光地点でアンケート調査を行う中でリピーター率を測定し、72%と非常に高い満足度であった。引き続き同じ水準を維持していくことを目標値とした。

(2) その他の目標

指標項目		2018 (H30) 年度	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度
●住民満足度 (%)	目標	()	()	()	()	56.9	56.9
	実績	55.9	56.2	56.9	()	()	()
●Web サイトア クセス状況 (件数)	目標	()	()	()	()	283,000	285,000
	実績	()	()	279,892	()	()	()
●(例) ワンス トップ窓口で の宿泊予約数 (件)	目標	()	()	()	()	()	()
	実績	()	()	()	()	()	()
●(例) メディ ア掲載回数 (回)	目標	()	()	()	()	()	()
	実績	()	()	()	()	()	()
●	目標	()	()	()	()	()	()
	実績	()	()	()	()	()	()

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

※KPIとして設定する項目や年次及び目標数値に関して、その検討のプロセスや考え方を項目ごとに出来る限り具体的に記入すること。
 主要なPRツールであるHPのアクセス件数は重要な指標となる。

【設定にあたっての考え方】

●ウェブサイトアクセス件数
 対外的な情報発信サイト「エーナえな」のアクセス件数について、グーグルアナリティクスよりアクセス件数を把握する。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に(1)収入、(2)支出を記入すること。
 ※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

(1) 収入

年(年度)	総収入(円)	内訳
2018(H30) 年度	(円)	(内訳の区分例) ※内訳が明確になるように記入すること。 【国からの補助金】 【都道府県からの補助金】 【市町村からの補助金】 【公物管理受託】 【収益事業】 【会費】 【特定財源(宿泊税、入湯税、負担金等)】 等
2019(R1) 年度(約2か月間)	2,311,000(円)	市補助金 2,200,000(円) 雑収入 111,000
2020(R2) 年度	38,883,064(円)	市補助金 20,000,000(円) 受託事業収入 14,262,231 収益事業売上 4,529,601 雑収益 91,232
2021(R3) 年度	53,227,000(円)	県補助金 6,000,000(円) 市補助金 29,107,000 受託事業収入 2,980,000 収益事業売上 14,640,000 雑収益 500,000
2022(R4) 年度	52,516,000(円)	市補助金 19,856,000(円) 受託事業収入 3,000,000 収益事業売上 29,600,000
2023(R5) 年度	53,000,000(円)	市補助金 20,000,000(円) 受託事業収入 3,000,000 収益事業売上 30,000,000

(2) 支出

年(年度)	総支出	内訳
2018 (H30) 年度	(円)	(内訳の区分例) 【一般管理費】 【情報発信・プロモーション】 ※可能であれば国内外の割合を記載 【受入環境整備等の着地整備】 【コンテンツ開発(観光資源の磨き上げ)】 【マーケティング(市場調査、ブランド戦略等)】 【観光イベントの開催費】 等
2019 (R1) 年度(約2か月間)	2,311,000 (円)	総務管理費 200,000 (円) 事業費 1,603,259
2020 (R2) 年度	38,936,852 (円)	総務管理費 6,190,759 (円) 事業費 28,124,377 情報発信 3,694,717 (外注費他) 受入環境整備 354,358 (外注費・予約販売サイト構築準備他) コンテンツ開発 13,183,391 (外注費・施設調査等業務他) マーケティング 1,927,057 (給与等・調査人件費等) イベント 5,639,851 (外注費・消耗品他) 収益事業費 4,544,816 (事業原価他) 経常外支出 76,900 (法人税)
2021 (R3) 年度	52,458,000 (円)	総務管理費 8,973,000 (円) 事業費 43,485,000 (収益事業費 12,500,000) 情報発信 3,500,000 (外注費・予約販売サイトプロモーション他) 受入環境整備 2,000,000 (改装費・メンテナンス「AeruSHOP」) (外注費・予約販売サイト構築費) コンテンツ開発 3,200,000 (外注費・サイト掲載商品開拓他) マーケティング 1,000,000 (外注費・アンケート調査業務) イベント 300,000 (外注費・消耗品他) 収益事業費 12,500,000
2022 (R4) 年度	51,309,000 (円)	総務管理費 9,586,000 (円) 事業費 41,723,000 (収益事業費 28,453,000) 情報発信 2,200,000 (人件費・情報発信人材経費他) (外注費・予約販売サイトプロモーション) 受入環境整備 2,000,000 (外注費・予約販売サイト運用費) コンテンツ開発 2,200,000 (人件費・サイト掲載商品開拓他) (外注費・人材育成研修誘致費) マーケティング 1,000,000 (外注費・アンケート調査業務) イベント 300,000 (外注費・消耗品他)
2023 (R5) 年度	51,309,000 (円)	総務管理費 5,000,000 (円) 事業費 40,000,000 (収益事業費 30,000,000) 情報発信 2,200,000 (人件費・情報発信人材経費他) (外注費・予約販売サイトプロモーション) 受入環境整備 2,000,000 (外注費・予約販売サイト運用費) コンテンツ開発 2,200,000 (人件費・サイト掲載商品開拓他) (外注費・人材育成研修誘致費) マーケティング 1,000,000 (外注費・アンケート調査業務) イベント 300,000 (外注費・消耗品他)

(別添) 様式 1

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

区域を構成する地方公共団体における宿泊税の導入、着地型旅行商品の造成・販売等の取組・方針を記載

運営資金確保のため、2019年度下期から地域産品の仕入れ及び販売を開始した。2020年度には情報発信、予約、販売を総合的に行うサイトの構築の準備を進め、2021年8月からサイト「Aeru」をスタート、またアンテナショップとしては「AeruSHOP」の開設を行った。

今後、自主的・継続的な活動に向けて着実に売上高を伸ばしていく方針である。

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

※設定対象区域の都道府県及び市町村が、本法人を当該都道府県・市町村における観光地域づくり法人として認める旨を含む意見を記入すること。

(例) ○○都道府県、××市町村は、△△法人を当該都道府県及び市町村における(広域連携DMO・地域連携DMO・地域DMO)として登録したいので△△法人とともに申請します。

岐阜県恵那市は、一般社団法人ジバスクラム恵那を地域DMOとして登録したいので、一般社団法人ジバスクラム恵那とともに申請します。

9. マーケティング・マネジメント対象区域が他の地域連携DMOや地域DMOと重複する場合の役割分担について(※重複しない場合は記載不要)

【他の地域連携DMOや地域DMOとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った(行っている)か】

(例) エリアが重複する●●DMOとは、月に一度の連絡会を行い、各取組の意見交換を行っている。

【区域が重複する背景】

【重複区域における、それぞれのDMOの役割分担について】

※重複する活動がないか、第三者から見た際に合理的と捉えられる役割分担になっているか等を踏まえて記入すること。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	田村 猛
担当部署名(役職)	事務局長
郵便番号	509-7201
所在地	岐阜県恵那市大井町293-9
電話番号(直通)	0573-32-1787
FAX番号	0573-32-1787
E-mail	taktam.zivascrum@gmail.com

(別添) 様式 1

1 1. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	岐阜県恵那市
担当者氏名	伊東 将昭
担当部署名 (役職)	商工観光部観光交流課 (課長補佐)
郵便番号	509-7292
所在地	岐阜県恵那市長島町正家 1 - 1 - 1
電話番号 (直通)	0573-22-9201
F A X 番号	0573-26-2861
E - m a i l	masaaki_itou@city.ena.lg.jp

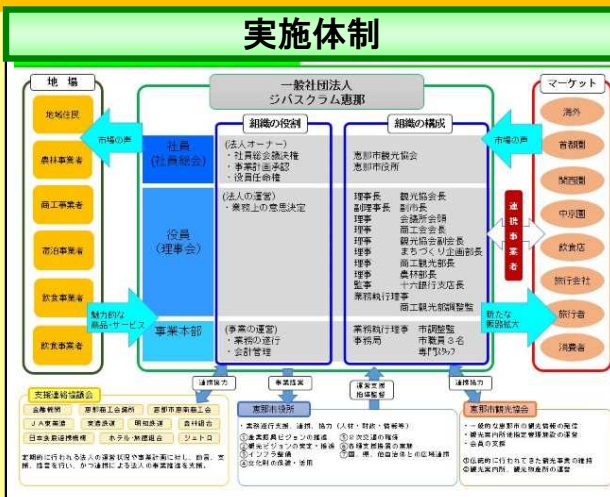
都道府県・市町村名	
担当者氏名	
担当部署名 (役職)	
郵便番号	
所在地	
電話番号 (直通)	
F A X 番号	
E - m a i l	

法人名:一般社団法人ジバスクラム恵那
登録区分名:地域DMO

地場スクラムを組んで、恵那らしさを追求し、稼ぐ観光都市恵那を目指す

【区域】 岐阜県恵那市
 【設立日】 令和2年1月16日
 【登録日】 令和2年1月14日
 【代表者】 代表理事 阿部 伸一郎
 【マーケティング責任者(CMO)】
 戸取 健一郎
 【財務責任者(CFO)】
 田村 猛
 【職員数】 4人【常勤3人(派遣3人)、非常勤9人】
 【連携する主な事業者】

恵那商工会議所、恵那市恵南商工会、東美濃農業協同組合
 東濃鉄道(株)、明知鉄道(株)、恵那市森林組合、恵南森林
 組合 岐阜県旅館ホテル生活衛生同業組合恵那支部 他



マーケティング・マネジメントする区域

【主な観光資源】
 ・恵那峡、笠置峡、阿木川ダム、根の上高原、坂折棚田、矢作川、アライダシ原生林などの豊かな自然。
 ・恵那峡、阿木川など各種ダム
 ・3つの道の駅と直売所
 ・越沢コテージやささゆりの湯 キャンプ場など各種アウトドア施設
 ・中山道宿場町、岩村城址と伝統的街並み、大正村、中山道 広重美術館 等

合意形成の仕組み

【該当する登録要件】 ②
 【概要】
 「支援連絡協議会」:連携する事業者が参画する支援連絡協議会を定期的に開催し、当該法人の運営状況や目標達成状況等の報告に対し、助言、支援、提言を行い、かつ各会員間連携による事業推進を支援する。

法人のこれまでの活動実績

【情報発信・プロモーション】
 ・令和2年3月ウェブサイトを立ち上げ、SNSとともに様々な取組みについて情報発信(4月から3月の1年間で114件記事を発信)
 ・マルシェ、ドローンイベント共催。
 【観光資源の磨き上げ・受入環境の整備】
 ・体験型コンテンツの造成支援
 ①令和2年3月24日にドローンスクールやドローン体験などを行う「株式会社ROBOZ」と連携協定を締結。7月に本社移転しスクール、体験開始。
 ②カヌーSUP体験開業を伴走支援。「FortySixAQUA」が新規開業。
 ・中部運輸局「グローバルキャンペーンコンテンツ造成事業」への参画。ガイド研修やファミツアー等の実施。

戦略

【主なターゲット】
 中京圏からの主に日帰り観光客 30代~60代のファミリー層、個人及びグループ
 【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
 ・恵那市アウトドアレジャー推進計画に基づき、市内に数多くある自然を活かし、市内各所のアウトドア関係事業者と連携を取り、各事業者の収益向上のための事業を推進する。
 ・「市内旅行事業者・地域の関係者」と「外部の旅行事業者」とを繋ぎ、連携していきながら、市内の観光資源を取り込んだ体験等企画し、誘客の促進を図る。
 ・道の駅ラ・フォーレ福寿の里上矢作をドローンの道の駅とし、ドローン体験やイベントで誘客を目指す。
 ・「恵那市観光物産展」におけるプロモーション。
 ・宿泊と体験、食を総合的に予約販売できる自社サイト構築を進める。

観光関連事業者と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

「支援連絡協議会」
 各種データや分析結果、取組みを共有、連携による法人の事業推進を支援。
 「アウトドアコミュニティえな」
 地域のアウトドア事業者の力を集め、アウトドアを切り口とした協力事業・イベント企画や一元的な情報発信を推進。

KPI(実績・目標) ※()内は訪日外国人旅行者に関する数値

項目	2018 (H30) 年度	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度
旅行消費額(百万円)	目標	()	9,045	9,226	9,421	9,599
	実績	8,868	*	8,448	()	()
延べ宿泊者数(千人)	目標	()	248,600	251,200	253,800	256,400
	実績	246,226	264,162	169,398	()	()
来訪者満足度(%)	目標	()	()	()	96.0	96.0
	実績	()	()	96.0	()	()
リピーター率(%)	目標	()	()	()	72.0	72.0
	実績	()	()	72.0	()	()

活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

【主な収入】 市補助金 約2.2百万円(R1年)
 【総支出】 2.2百万円(一般管理費0.7百万円、事業費1.5百万円)
 ※R3年3月期決算(活動期間約2カ月)
 【自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針】
 宿泊、体験、商品の予約販売を複合的に行う自社サイトの構築と地場野菜や加工品を中心とした物産の販売、受託事業収入の確保。